DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
ぼくらの(ほし)恋星には、しか居ない3
オレオリ
サークル：ぱっちゃ屋

かつて、
この惑星には
人間がいた。

人間は僕たち獣人を
お造りになり、
やがて遠い宇宙へ
旅去ってしまったという。

僕らは人間の居なく
なったこの惑星で。

惑星の中に唯一
残ったこの町で。

毎日、人間の
お帰りを待って
生活している…。

んぎぃぃぃ
ドッ
ンンン

他者のDNAを身体に取り入れる事で、自身の肉体をすぐに変貌させてしまう。

「個」という要素が希薄すぎる・・・

この少年も、自分の意志とは関係なく樹木人(ドリアード)のDNAを肉体に取り入れてしまっている・・・

モウスグ新タナ樹木人ガ生マレル・・・

オ前モ僕ト同ジ存在ニ堕チロ！

速く取り除き、「上書き」しなければ・・・手遅れになってしまう。

少年の「個」が消えてしまう。

・・・スマンな
俺は、人間(カミサマ)なんか
じゃないんだ。
脆弱過ぎる「個」に、
変異の容易いDNA・・・
だから、お前は
助けられない
せめて
ここで朽ちろ
死ぬまで
森を彷徨うよりは
マシだろう
はっきりと言える事は。
我々を作ったカミサマは、
我々の事など
どうでも良いのだろう・・・
と、いう事だ・・・

樹木人の生活圏に近いと、いつまた襲われるか分からないからな…
出来るだけ遠くに離れたかったが…
そろそろ、この少年も限界だ…処置をしなければ。

ここで良いか。
川の水で清潔も保てる・・
汚染されたDNAは
水に流してしまおう。

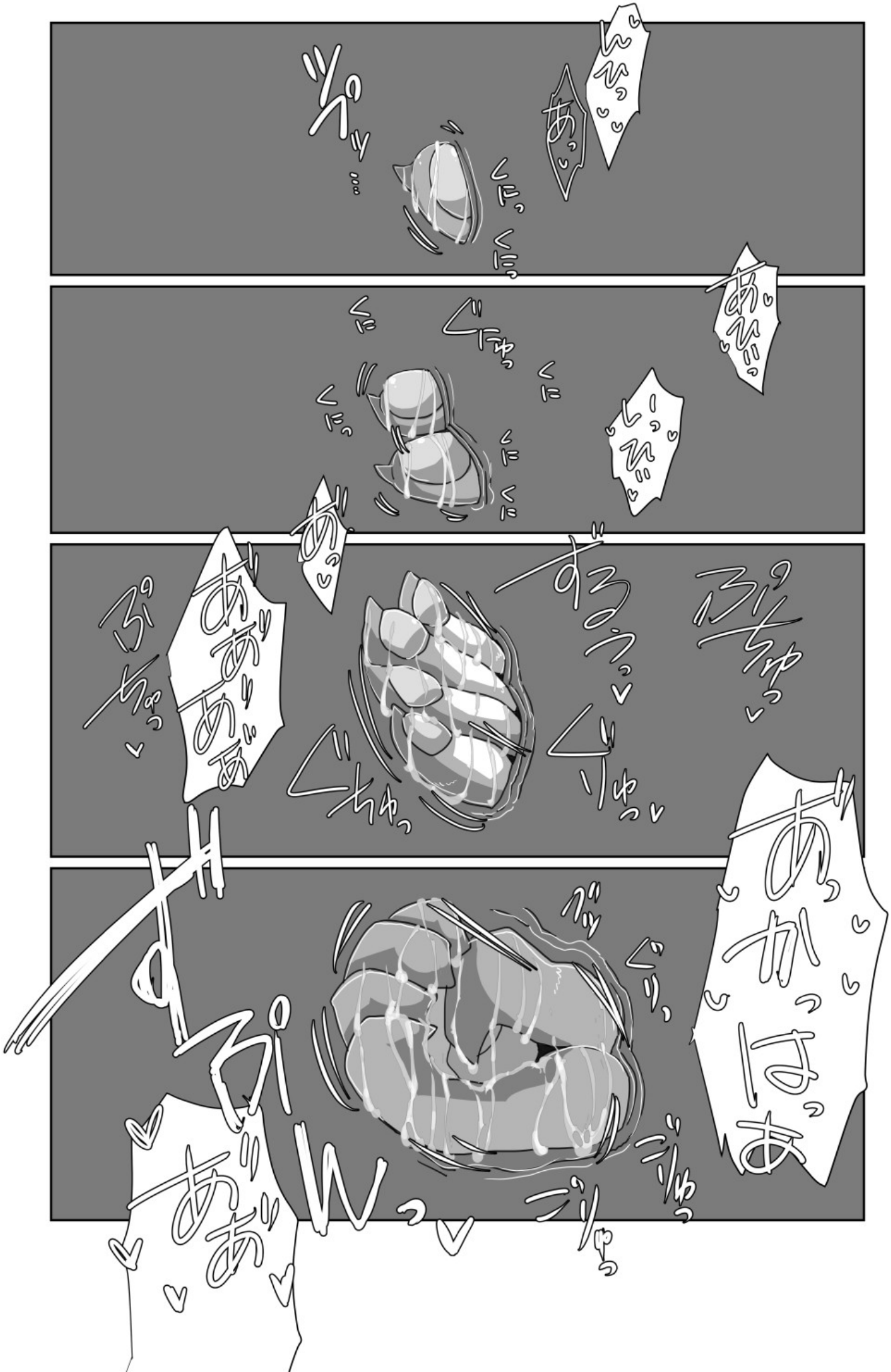
あう…お…
苦しいだろう…凄い熱だ…
もう少しの辛抱だからな。
少しキツイが…頑張ってくれッ！
うっ？
うっ？
ぶらん。

よし！頑張れ！
ＤＮＡを汚染する
精液を全て
排出するんだ！

それは体外に
出てしまえば
数分で無力化する。

まずは肉体の外に
追い出すんだ！

・・・ここらが限界か？
ボタ
ボタ
ピクッ
ボタ
ポタ
ポタ
しかしまだ、隅々まで綺麗になった訳じゃないな・・・
変異が止まっていない・・・
致し方ない・・・！
ピク
ピク
ピク


ぷっ…
くにっ
くにっ
あっ
んひっ
くに
ぐにゅっ
くに
くにっ
くに
くに
あひっ
ひっ
あっ
ぷちゅっ
ぐちゅっ
あぁぁぁぁ
ぐちゅっ
ずるっ
ぐりゅっ
ぷちゅっ
すぴぃぃぃっ
あぁぁぁぁ
ぐりっ
ぐりっ
ごりゅっ
ごりゅっ
あかっ
はっあ

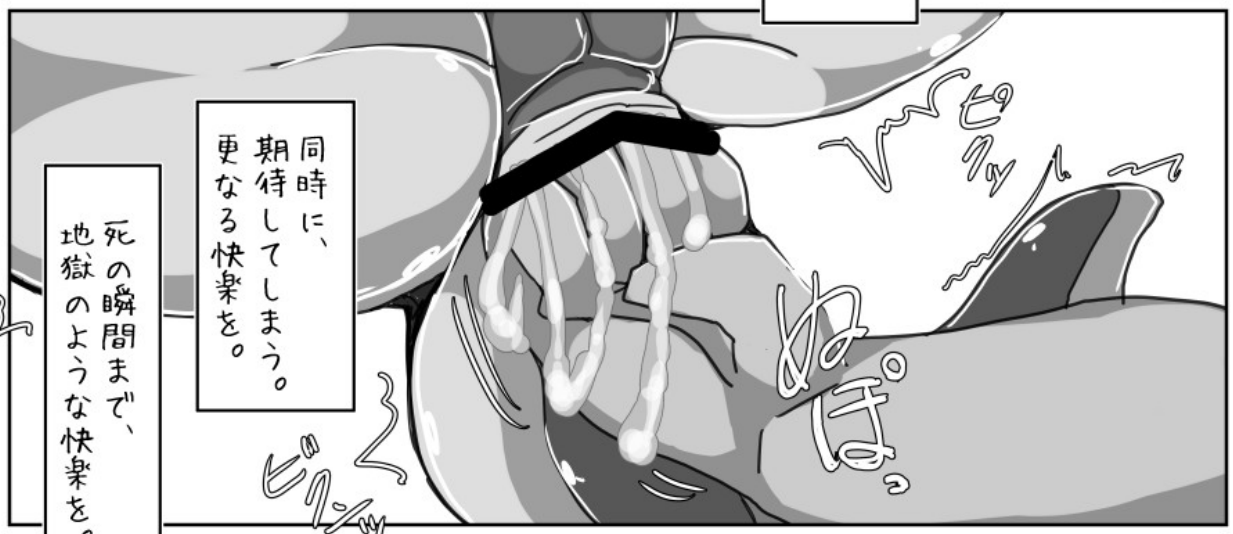
DNA汚染精液を全て掻きだす！
負けるな、少年！

あぐ
あぐ
あぐ
あっ
ずぽっ
ごりっ
ごりっ
ごりっ
ぎゅるっ
ぎゅるっ
ぎゅる

苦痛を快楽に感じる…
そう言う風に、
我々は出来ている。

我々を作った人間(カミサマ)は、
本当に…
どこまでもおぞましい…

死の恐怖や、
DNAを書き換えられる
恐怖を感じながら…



同時に、
期待してしまう。
更なる快楽を。

死の瞬間まで、
地獄のような快楽を。

そろそろ良いだろう。

・・・これ以上は、少年の身体と精神が持たない。

「上書き」に入ろう。

もう少しの辛抱だからな・・・頑張れよ・・・！

ゆさっ
ゆさっ
ゆさっ
あぎぃぃぃ
あぁぁぁ
まだ、おにゃかがあぁっ
ゴッ
ぐぐぐぐぐぐぐぐ
ぐぐぐぐぐぐぐぐ
ぐぐぐぐぐぐぐぐ

なに、してるんですか…？あなた、だれ…？
ラウズは…？
起きたか、丁度いい。手伝って貰えるか？
友人なんだろう？この少年から変異DNAを吐き出させる手伝いをしてくれ。
ハッ
ハッ
ぷる
ぷる
ぷる
…と言っても、伝わらないよな…
少年を元に戻す。助けて欲しい。
ぶるるっ
……！

どうすれば・・・？

簡単な事だ。この少年に沢山射精させて欲しい。

ただし、お前はその精液を摂取するなよ。獣人の身体には毒だ。口に入ったとしても、全て吐き出せ。

俺は、少年に獣人のDNAを打ち込んで、身体を元に戻す。

言ってる事は良く分からないですけど・・・

兎に角、ラウズを沢山キモチヨクすれば良いんですね・・・？

出来るだけ、少年の身体にこれ以上の負担を掛けないようにして欲しい・・・
出来るか？
分かりました。
ルクス・・・
ラウズ、いま助けるからね・・・
あーん。
ルク、ス・・・！
ひゃあぁぅ!!

あ、あ、あ、
ゆ、ゆ、ゆ、
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐち

あ゛で る゛
で…っ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ぁぁ゛ぃ
ぃくぅ゛
ぬ゛ちゃっ
ぬ゛ちゃっ
ぬ゛ちゃっ

射精するたび、ラウズの皮膚が…獣毛に戻って行く…!
元のDNA情報が身体の再生を始めたんだ。この調子で頼む。
分かりました…!ラウズ、もっといっぱい、精液出そう!
コッチに身体を向けてください!
う、うむ?
にゃあ

ドロ――…
あ――ん。
あ――
ルクスぅっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ちゅっ
くぽっ
くぽっ
くぽっ
くぽっ
ちんちんがぁ
ぺちょ
れろ
ぺちょ
れろ
ひゃぁあぁう
なかぁあぁあ
ぺろ
ぺろ
ちゅっ

あ、でりゅ
でりゅ
どぴゅっ
ビクッ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
ビクッ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
ぶっ

うっくっ、しかしこれは・・・！流石に充てられるな・・・！
そろそろ、良いか・・・！俺も限界だ・・・！
危ないぞ、離れてくれ。
え・・・？
ぐいっ
グルルル
あっ
あっ!!
ぐぶっ
ぐぶっ

獣人のDNAを、直接、少年の体内に注ぎ込む・・・！
これで大分、回復が早まる筈だ・・・！
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ぐぐぐ
ゴッ
ゴッ
ゴッ

ドプッ
ドプッ
ドプッ

…気絶したか。
スー…
スー…
ポッコリ
ラウズ…
ぐすん…
心配するな。暫くすれば、修復も終わって目を覚ますさ。
キミも、少なからずDNA汚染を受けて居る。少ししたら、治療をしよう
ギュ
あ、有難う御座います…貴方は、いったい…？
俺か…？

俺の名前は
ヴォルクスリヴォルス。
惑星型プラント
KMO-II-03から
ワープポータルを
使って此方に来た。
落ち着いたら、
大人の居る場所に
案内して欲しい。
俺は…
救援要請をしに、
このプラントに
やって来たんだ。

■ラウズニサンサ

小惑星型プラント
「ｋＭ－Ｃ４Ｔ・Ａ」に暮らす猫獣人。
前作から引き続き登場。

樹木人に改造されかけた所を、
他の惑星型プラントから
来訪したヴォルクスに救われる。
一度は樹木人にＴＦしかけるも、
何とか獣人に戻る事が出来た。

一度TFしかけた後遺症で
毛質が変質し、真っ黒な毛並みに。
その後青年体の遺伝子を
取り込んだことで、身体が
急成長してケモお兄さんに
なってしまった。

実年齢１８歳。

■ルクスニルナ

小惑星型プラント
「ＫＭ－Ｃ４Ｔ・Ａ」に暮らす兎獣人。
前作から引き続き登場。

樹木人の毒に犯されるも、
ヴォルに救い出され事なきを得る。

恋人のラウズがケモお兄さんに
なってしまったが、
むしろその姿の方が好みらしく、
彼を見ているとドキドキして
しまうのが最近の新しい悩み。

実年齢１７歳

■ヴォルクス＝ヴォルス

小惑星型プラント「ｋＭＯ－Ⅱ－03」から
やって来た狼獣人の青年体。

少年体（おとこのこ）しか居ないプラントと気付かず、
大人を探して森を歩いていたところ、
樹木人に襲われている
ラウズとルクスを発見し、救出する。
今回の件を通して自分がショタコンで
ある事を発見し戸惑っている。

なぜ獣人の遺伝子に対しての
知識が深いのかは不明。

曰く、このプラントには
「救援要請」をしに来たという。

実年齢１３歳

■ボクらの惑星にはケモお兄さんしか居ない。

ケモショタしか存在しない惑星型プラント以外にも、
ケモお兄さんしか居ない惑星型プラントが存在する。

もしかしたら、ケモロリしかいない惑星や、
ケモお姉さんしかいない惑星もあるかも知れない。
各惑星型プラントがどうなっているのかは、
現段階では連絡手段がないため不明である。

ん・・・？
あ・・・いつの間にか、寝ちゃったんだ・・・
ラウズ、まだ起きないのかな？
身体、大丈夫だといいけれど
ん、ルクス？
あ、ラウズ、目が覚め
った・・・？
え？
ええ？！

どうした？ルクス？

ラ、ラウズ？！その身体、どうしたの？

ふぁ

え？何が？

あれ？ルクス、ちっこいだ？

大きくなってるよ、ラウズ！

逆だよ！！

起きたのか、2人とも

なんじゃこりゃぁぁぁぁ…!!

ヴォルクスさん！ラウズの身体が…！

ああ、それは俺のDNAを取り込んだからだろうな…

こしょこしょ!!

成年体に近くなるよう、改造されたんだよ。

か、改造…

あ。出てるぅ…

ボコ

ボコ

でりゃふぉ〜〜

バキ

ギギッ

モウスグ新タナ樹木人ガ生マレル…

オ前モ僕ト同ジ存在ニ堕チロ！

俺たちの身体は、そういう風に出来ている。

少年はただでさえ、一度樹木人にDNAを書き換えられているから、影響が早く出たんだろう。

どれ…起きたなら、治療を再開するぞ。

変異が早いという事は、未だにDNAが劣化している証拠だ。

ウサギの少年の治療もしなければならないからな。

治療…

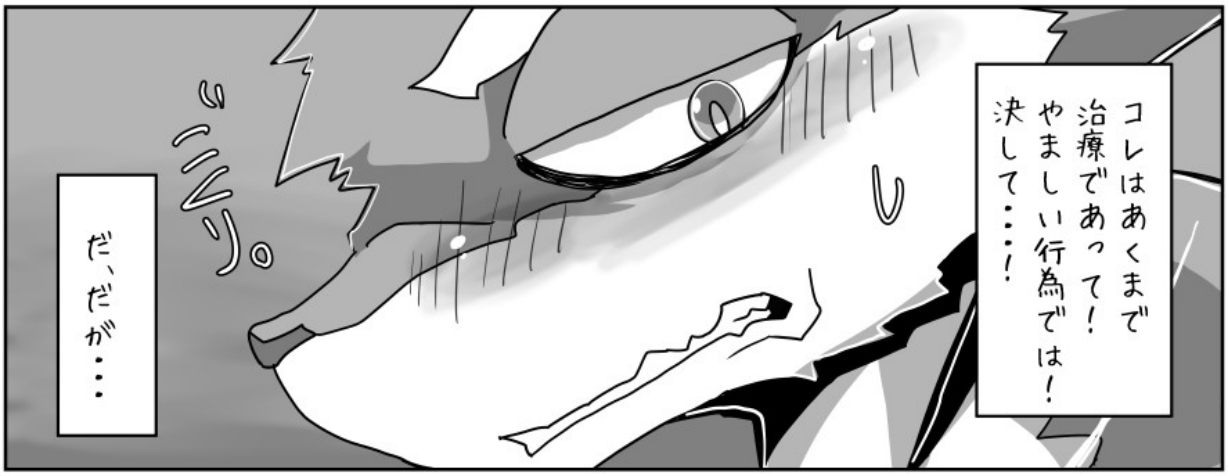
って…

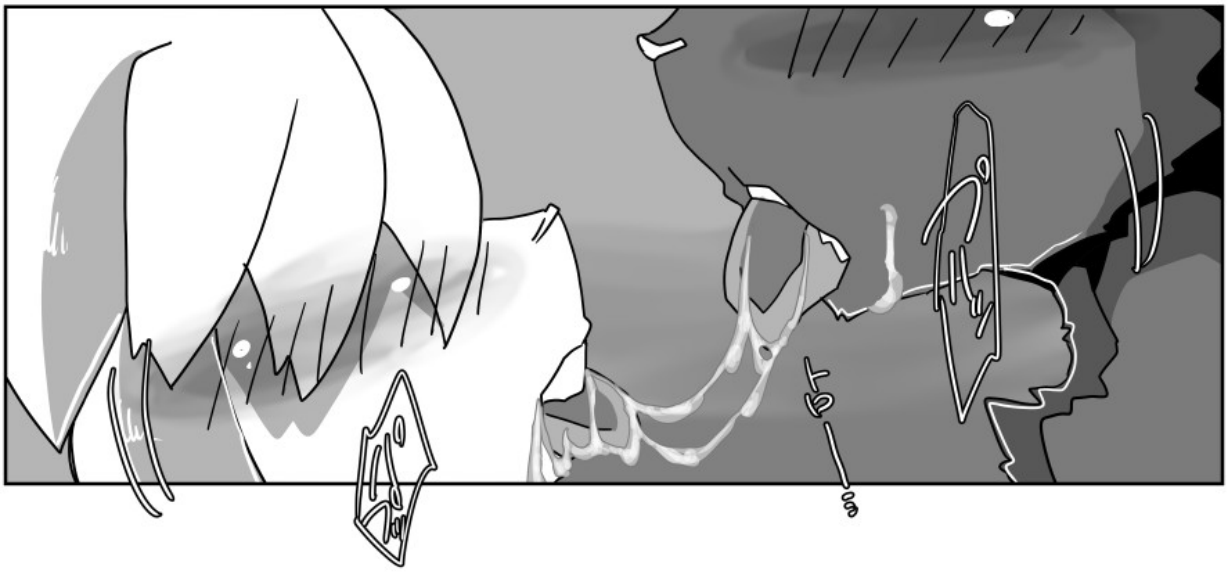
そう・・・丁寧に・・・少しずつ身体を慣らすんだ・・・
こんなに大きくて、グロテスクなのに・・・
失っぽから出る汁が甘くて、甘くて、たまらない・・・
もっと欲しくなる・・・身体がコレを求めてるのが分かる・・・
今まで感じた事のない、誰よりも強い獣臭・・・

欲しい…
もっと、もっと…
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
ぷちゅっ
!?
どぴゅっ
ぶるぶるっ
ぶるぶるっ
ぶるぶるっ

いっぱい、溢れて来た…
おいしい…もっとぉ…
ちゅ
ちゅ
イイな、ラウズ…ぼくもほしい…
ん…いいよぉ…
ぬぷ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
しかし、これは…参ったな…
ジンワリ。
2人とも…か、可愛い…

冷静になってみると、こんな可愛い・・・小さな子を相手にしてると思うと・・・
ぱっ
ぱっ
ぶいっ
ぶいっ
いや、いかん、イカンぞ！


コレはあくまで治療であって！やましい行為では！決して・・・！
だ、だが・・・
ぐにゅり。


ぷしゅ
とろーっ

ヴォルクスさんの精液、おいしい…
本当、今まで食べたどんなものよりも美味しいね…
それは多分、DNAを保全してくれるからだろうな…
未熟な身体で成長を止められてしまう君たちの身体は、成年体である俺のDNAの摂取を好ましいと感じるんだろう
さ、まだまだこれからだぞ？次は直接、体内にDNAを注ぎ込むからな。
尻を此方に向けてくれ…
あぁぁ
あぁぁ
あぁぁ

あぁんあぁ
んあっ
奥、までぇ！
届いてるぅ！
あ、あああ！
あっ
あっ
んぁ
掌よりも
小さい身体…
握り潰せそうな
背骨…
それなのに、
俺の肉竿を貪欲に
絡めて離さない
内側の肉…
何てエロい…
正に犯される為に
特化した種族…！

ルクスの中、凄い…
掻き回されて、
泡立ってるよ…
あ、あ、あ！
ラウズぅ…！
言わないでぇ…！
キミ、
この子のちんぽ、
しゃぶってやれ。
精液を飲んで、
取り込むんだ。
そうすれば、
元の姿に近づける。
ん、分かった。
ぐちゅ
ぱっ
ぱっ
ぱっ
ぱっ

ちゅうう
吸わないでええっ
ちゅぽっ
我慢するなよ。
思い切り射精してやれ。
それが治療に繋がるからな
あう、あ、あああ！
あああひ！あひ！
わか、り、ましたあ！
あ、あ、あ！
ちゅぽっ
ぶちゅっ
ぐぷっ
あ、あ、あ！
でちゃう！
漏れちゃうう！
ラウズ、飲んで！
ぜんぶのんでえ！
イクイクイクウ！
ぐっ、俺も、
また・・・イクぞ・・・！
ふたりとも・・・！

あっ
んあぁぁぁぁ
ぐるるるッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぶっ
ぶっ
ぶっ

しかしまさか、
このプラントが
少年体しか存在しない
プラントだったとは・・・
・・・・・
・・・という事は。
君たちも、
見た目よりも
ずっと歳をとって
いるのだろうか？
僕たちですか？
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ

俺はラウズ。今年で18になる。普段は「街」で食材加工の仕事をしてるよ
僕はルクス。今年で17歳です。ラウズと一緒に住んで、おうちの手入れなんかをしています。
……。
あ、あの？ヴォルクスさん？
い、いや、本当に驚いた…君たちは子供のまま歳をとらないのだなと思ってね…

えっと…
俺らは5歳の頃に、
「中央」から
「街」に出て…
そこからは
里親に預けられて
過ごすんだけど…

らの惑星の新たな住民は、
年行われる「ヒンシツ管理」の際、
央棟から発表される。

生まれて5年になる
子供たちが、
中央棟から職員に
連れられてくるのだ

だいたいどの獣人も、
15歳を境に肉体の
成長が止まるんだ。

れぞれ、

僕たちみたいに
小さいままな獣人も
いれば、そこそこ
大きくなる獣人も
居るけど…

ヴォルクスさんみたいに
立派な身体になる獣人は、
まず居ません…
他所の惑星から
来たって聞いたのが、
むしろ納得しました。

成程…
これもまた、人間の
悪辣なDNA操作と
言うわけだ…

ギリ…

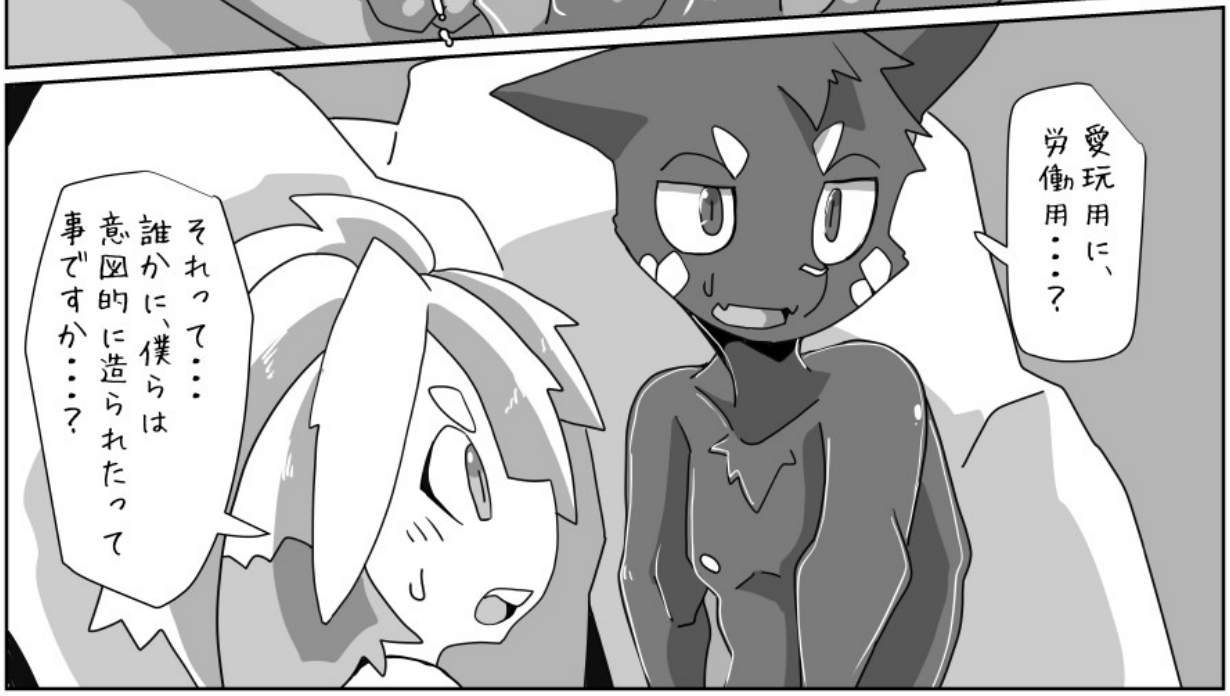
因みに俺は、今年で13になる。
13歳!?
え、年下!?
ガシッ
すまない、見た目で判断して敬意を表していなかった…。
…いませんでした。申し訳ないです。
いやいやいや、気にしないで下さい!
貴方は僕らの命の恩人なんですから!
でも何でまた…そんな身体に…?

俺たちのプラントでは、此方と同じく5歳の頃に「中央」から里親に出されるんだが…

その後、15歳になるまでに身体が急成長して成年体となるんだ。

恐らく…此方のプラントは愛玩用…

俺たちのプラントは肉体労働用に特化した個体を育成する機関だったのだろうな…



そういう事だ。
俺たち獣人は皆、
人間(カミサマ)によって
生み出された…

人間(カミサマ)に都合の
良いように
使い捨てられる、
家畜なんだ…

俺たちのプラントは、
成年体の♂のみで
構成されていた…

だが、ある日。
プラントの「中央」に
眠る人間(カミサマ)が目覚めた。

人間(カミサマ)は惑星の支配者
として君臨し…誰も
逆らえなかった…
DNAにそう刻まれて
いるからだ…

俺と兄さんは、そんな
支配から逃れる為に、
協力者を得て、
このプラントへの
脱出を試みたんだ。

協力者？

彼女はユキヒョウの姿をしては居たが…このプラント出身の「人間」だと名乗った。

ぺら。

元居たプラントの「中央」に封印された自分の身体を取り戻し、俺たちの惑星を救ってくれると…

あ…！この子…！

ルクス、知ってるのか？

じゃあな少年！縁があったらまた会おう！

あ、あの！「外」は危ないんで…！

ぽっ

ラウズ、この子だよ！ユエタ兄ちゃんと、ルナク兄ちゃんの写真の入った手帳を持ってたのは…！

あ…行っちゃった。

労働カプラントへのワープポータルは破壊されていた・・・
おそらく、ヴォルクスかザルクスか・・・
あの兄弟のどちらかが此方側にやって来たんだろうねえ
さて・・・いよいよノンビリもしていられなくなって来たね・・・
ワープポータルが稼働して居た事は、暫くすれば労働カプラントの人間たちも気付くだろう
すぐに経路を修繕して、別のポータルからこちらにやって来る
そうなると、戦闘力の無い愛玩用プラントの獣人たちでは太刀打ち出来ない・・・
労働カプラントのように、支配されるのがオチだね
冗談じゃないや。

こんなに可愛くて可哀そうで、脆弱で、護ってやらなきゃすぐに死滅しちゃう愛おしい愛おしい生物たちを…

私が護らないで誰が護るってんだ。

ああ…愛してるよ…私の可愛い獣人たち…

下衆な人間(オブッ)どもに指一本だって触れさせやしない…

私の造った箱庭は。他の誰にも犯させやしない。

私の玩具は誰にも渡すものか・・・

■　おくづけ　■

タイトル
ボク等の惑星には♂しかいないの3

発行者：素壱

発行：ばっちゃ屋

発行年月日：11月21日

連絡先：simantyunoai@gmail.com

印刷所名：K9

この本にあるすべての画像の
無断での転載を禁止します